

# T-LINKS

T-LINKS

No. 12-076-2023作成  
新築  
事務所/体育館

発注者	太陽ファルマテック株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 企業と地域の“つながり”が生まれる、大屋根の厚生施設



外観：日射を防ぐ大庇と緑

### 大屋根と庇により日射と雨を遮る日本の環境建築

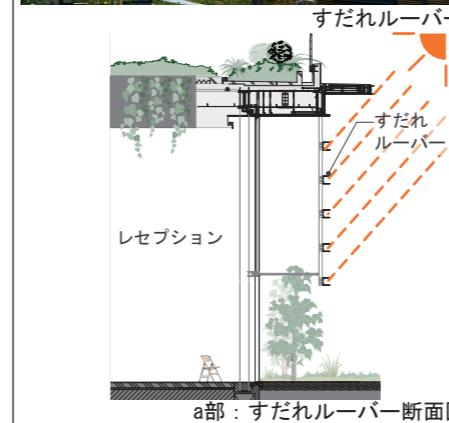
大阪と京都の中間の日本の伝統文化が残る高槻に、『みんなのリフレッシュテラス=環境と人に優しい木陰の空間』をコンセプトに大屋根の下の開放的な広縁で人々（従業員と近隣の方々）がそれぞれ集う事が出来る、日本の環境建築を現代にアレンジしている。T-LINKSは地域とのつながりを生み、且つ企業施設として適切な距離感を保つために日本建築の『間』の設えを用いた。大屋根の下の開口部の前に『すだれルーバー』を設け、街との程よい距離感と建物への日射対策を行っている。且つ地域の潜在自然植生を再生した外構植栽（郷土種の庭）に、南側の高木のケヤキの広場と3階廊下の竹笹植栽の天空回廊や四季の屋上庭園の緑を立体的に配置し、優しい『木の葉ブラインド』に囲まれた空間を創り、自然との融合を試みた。大屋根とすだれルーバーによる日射抑制、緑地の蒸散効果と日射対策、高効率機器の採用によりZEB ready を達成している。



配置図

建物データ	省エネルギー性能		
所在地	大阪府高槻市	BEI	0.5
竣工年	2022年	LCCO <sub>2</sub> 削減	9%
敷地面積	65,873m <sup>2</sup>		
延床面積	4,716m <sup>2</sup>		
構造	S造		
階数	地上3階		

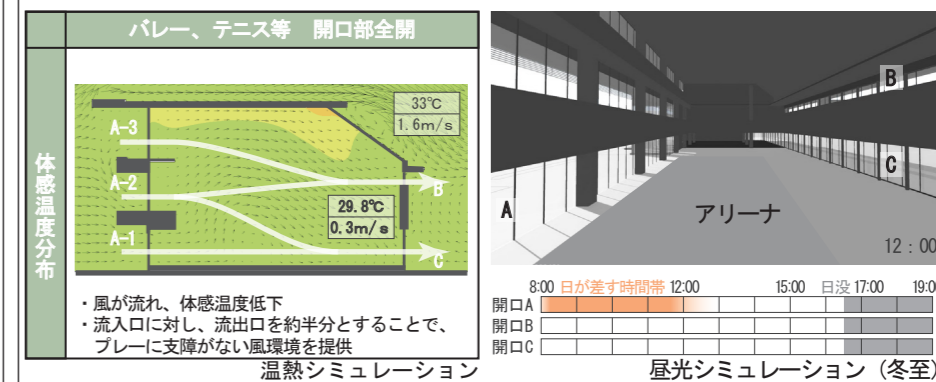
### 地域とゆるやかに繋がる「すだれルーバー」



### 屋光の直射光がブルーコートに入らないカーテン不要の明るいアリーナを実現



優しい光に包まれる屋光利用のアリーナ



大屋根とすだれと緑による優しい環境建築  
日本の大屋根によって日射と雨から建物を守る。すだれルーバーと緑化計画によって優しい光環境を創る。

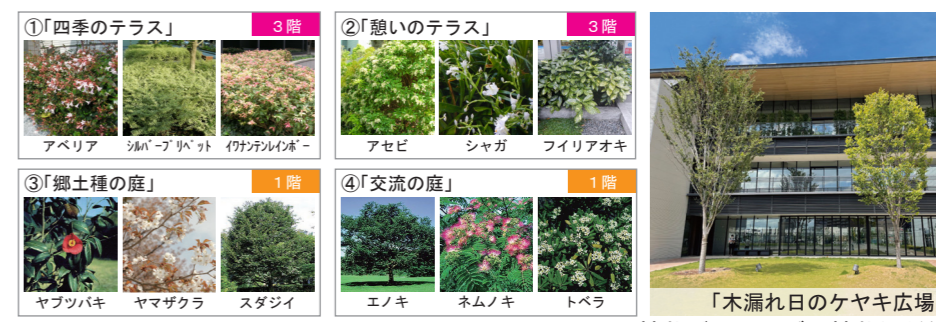
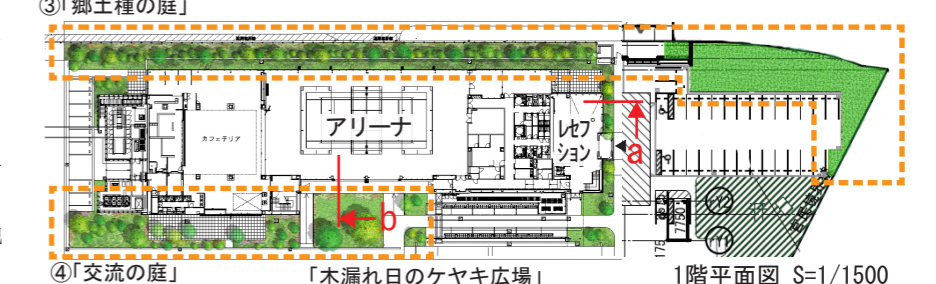
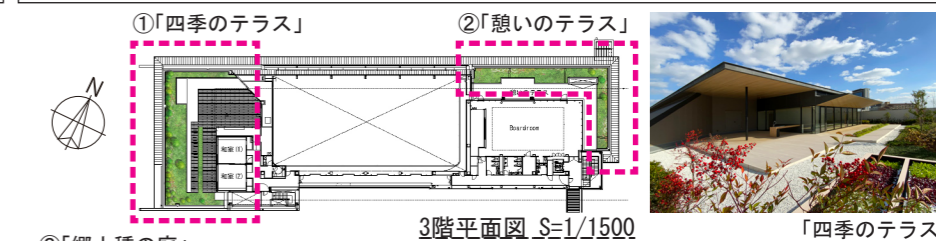
### 地域本来の緑を用いた植栽計画

本植栽計画では、緑の少ないエリアに立地する計画地に高木の自然を感じられる地域らしい緑の再生を目指した。そのため、地域の鎮守の森（ヤブコウジスダジイ群集）や里山林の構成種を中心に植栽樹種を選定した。道路に面した北側の緑地および工場に面した南側の緑地それぞれに季節感のある樹種を配し、従業員や地域の方々々が緑を楽しめる3つの庭を設けた。

- ・「郷土種の庭」：郷土種のうち花や紅葉が美しい樹種を配し、地域の人々が通りがかりに見て楽しめる緑。
- ・「交流の庭」：落葉広葉樹を中心の寛げる軽快な緑。
- ・「木漏れ日のケヤキ広場」：ケヤキの大木を配置し、夏は日差しを遮り、冬は木漏れ日をもたらす緑。

### 設計担当者

建築：川野久雄、和田真、眞鍋修、澤田拓巳／構造：島村高平、松土智史、山崎由美子  
設備：渡辺睦典、西村英俊、矢田達也／ランドスケープ：小倉満、内池智広、渡邊千佳子



「木漏れ日のケヤキ広場」

植栽ゾーニングと植栽樹種例

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（外構緑化、建築緑化、地域の郷土種への配慮）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（建物配置や形態のまちなみとの調和、新たなシンボルの形成）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（空間提供、豊かな中間領域の形成）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（庇の深い外装）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（自然通風）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（建築緑化、日影の形成）